南足柄 六福寺お寺めぐり

～江戸時代の庶民が幸福を求めて巡った寺々～

廃寺善福寺（関本、上寺）東寺真言宗

弘済寺預かり

【縁起】関昌山善福寺は、明治の廃仏毀釈で廃寺となりました。明治時代の初めまで、現在の関本公園の辺りに善福寺はあり、「関本三福寺」のうち、「上寺」として親しまれていたそうです。廃寺善福寺の本尊や脇仏は、近くの真言宗寺院である弘済寺に移され、現在に至っています。

【本尊】大日如来

【利益】「三福寺団子」（春、秋のお彼岸お中日、弘済寺境内にて）を食べると、団子の色に合わせ、財産（ピンク）、智慧（白）、健康（緑）の福徳が得られる。

弘済寺

長福寺（関本、中寺）臨済宗円覚寺派

【縁起】関雲山長福寺は鎌倉円覚寺を本山とする禅寺で、創立は応永33（1426）年です。本尊は十一面観世音菩薩、脇侍に毘沙門天と不動明王を据えています。開山は子文法林和尚で、「安産、長生きの観音さん」として地域の信仰を集めています。また、1400～1500年程度前の塚田古墳群から出土の金銅製単鳳頭柄頭、鉄製の刀や鎧などを展示保管しています。円覚寺百観音霊場第20番札所。

【本尊】十一面観世音菩薩

【利益】安産、長生き。

龍福寺（関本、下寺）時宗

【縁起】龍澤山吉祥院龍福寺は、時宗（開祖一遍上人）の念仏道場として、二代目真教上人により永仁6（1298）年に開かれました。「関本の三福寺」として古くから知られており、本尊阿弥陀如来坐像は鎌倉初期の作で、市指定文化財に指定されています。また、境内には義臣下田隼人の碑があり、堂内には石仏（おびんずるさん）があります。古来より、この石仏に触ると病が治ると信じられてきました。江戸時代には歴代の和尚が寺小屋を開き、文徹上人（当山三十三世）の「化源館」が明治時代に「小学化源館」となり、南足柄小学校が開設されました。

【本尊】阿弥陀如来

【利益】石仏（おびんずるさん）に触ると病が治る

モデルコース

和田河原駅→**福田寺**→橋場橋→竹松坂下バス停→足柄消防署→足柄台中学校→**善福寺**→切通し交差点→福沢小学校→福沢サービスセンター→**天福寺**→県道小田原山北線→五差路→亀ヶ尾橋→**弘済寺**→県道御殿場大井線→**廃寺善福寺**（関本公園）→**長福寺**→竜福寺交差点→**龍福寺**→大雄山駅

天福寺（千津島）臨済宗円覚寺派

【縁起】玖富山天福寺は、応仁2（1468）年、開山記室譲公禅師によって千津島に開かれました。酒匂川の洪水や火災など、幾多の災害に遭ってまいりましたが、文禄3（1594）年には名主の瀬戸文右衛門によって観音堂が建立されました。ここには如意輪観世音菩薩が安置されており、毎年7月18日には毎歳諷経が厳修されています。また、17年に一度中開帳、33年に一度本開帳が厳修されます。別名「竹皮の観音」とも呼ばれ、安産の観世音菩薩としても親しまれています。

【本尊】地蔵菩薩

【利益】お参りをするとお産が楽になる。

善福寺（怒田）浄土真宗本願寺派

【縁起】龍頭山華水院善福寺は、親鸞聖人常随の関東六老僧の一人、平塚入道了源上人（伊東四郎祐光）の創建です。伊東祐光は伊東祐親の孫にあたり、仇討ちで有名な曽我兄弟とは従兄弟の関係になると伝えられています。もとは天台宗高麗寺大権現の別当でありましたが、国府津に滞在していた親鸞聖人と出会い、その門に帰しました。そして、延応元（1239）年に墻下の地に本堂を建立いたしました。現本堂は文化2（1805）年の再建であり、また、山門は大久保忠衛の屋敷門の移築です。江戸時代から寺小屋が開かれ、福沢小学校の開校の場ともなりました。

【本尊】阿弥陀如来

福田寺（和田河原）曹洞宗

【縁起】天照山福田寺は、慶長元（1596）年、荒井丹後守が開基となり、大松寺（竹松）七世秀壑宗松和尚を開山に請し、開創されました。爾来四百年、幾度かの戦争、堂宇の焼失、天災を乗り越え、現住三十四世に至っています。

【本尊】地蔵菩薩